

従業員(介護従事者)の日常生活に関するガイドライン



新型コロナウイルスを含む感染症に対して、抵抗力の弱い高齢のご利用者に対するサービスだからこそ、介護従事者は、日常生活においても、「うつさない」「うつらない」対策をすることが大切です。
そうすることで、自分自身はもちろん大切な人、大切なご家族、医療現場を守ることにもつながります
感染拡大を防止するため、休日や業務終了後の日々の暮らしの中についても、
本ガイドラインに沿って、行動をするようにお願いします。

禁 止 事 項

現在、感染拡大が起きている原因のほとんどが、昼夜問わず飲酒を伴う「場」と「会食」が関係しています。
弊社従業員は、下記に示す行動と場への出入りを当面の間禁止とします。

【行動】

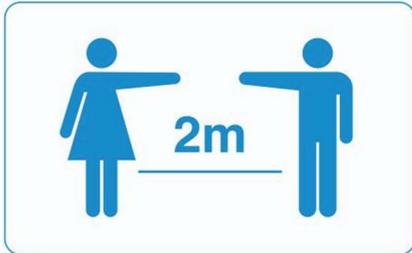
- ・複数名での会食はしない
- ・一人での外食も極力控える
- ・飲酒を伴う活動は行わない
- ・旅行や帰省、遠くへの外出はしない
- ・不要不急の外出はしない

【場】

- ・接待を伴う飲食店、飲酒を提供する飲食店は行かない
- ・カラオケ店・ライブハウス等、3密要素が高い施設は行かない
- ・その他、感染予防対策が講じられていない、講じられない場所へは行かない

～新しい生活様式の実践～

(1) 感染防止の3つの基本



出来るだけ2m最低1m空ける



マスク着用



こまめに手洗い・消毒

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式



密集回避



密閉回避



密接回避



咳エチケット



換気

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

■ 家庭内

- ・家族全員の健康管理に留意する

■ 公共交通機関の利用

- ・会話は控えめにする
- ・混んでいる時間帯は避ける
- ・徒歩や自転車利用も併用する

■ 買い物

- ・電子決済の利用する
- ・通販も利用する
- ・1人または少人数で空いた時間に行く
- ・展示品や商品の接触は控えめにする
- ・レジに並ぶときは、前後にスペースを空ける

■ 食事

- ・持ち帰りや出前、デリバリーも利用する
- ・大皿は避けて、料理は個々に分ける
- ・真正面を避けて、横並びで座る
- ・お箸の共有、グラスの回し飲みはしない
- ・料理に集中、会話は控えめにする

■ 娯楽、スポーツ等

- ・空いた時間、場所を選ぶ
- ・ジョギング等は単独もしくは少人数で行う
- ・筋トレやヨガは自宅で行う
- ・狭い空間での長居はしない
- ・人とすれ違う時は距離をとる
- ・不特定多数の人で込み合う場は行かない